

1 事業名等(Plan 1)

事業名	美術展覧会等開催事業									
所属名	市民活動部 生涯学習課 生涯学習推進グループ									
第七次総合計画	政策	4	「ゆたかさ」のあるまちをめざして	分野	4	文化	基本施策 2 あらたな文化の創造と振興を図る	施策	1	文化的環境の醸成
予算科目	9	4	6	文化振興	費	94605	美術展覧会等開催	事業		
	9	4	6	文化振興	費	94699	地域文化振興事業費における一之宮・臥龍桜日本画大賞展事業のみを対象とする	事業		
					費			事業		
根拠条例・実施要綱・担当部門計画等										
事業の実施主体										
事業の実施方法										

2 事業の目的・概要(Plan 2)

目的は対象(何を、誰を対象に)と意図(対象をどういう状態にしたいのか)を、概要は実施手法、手順等を記入

目的	誰のために(対象)	市民	受益者数	93,822 人
目的	対象をどういう状態にしたいのか(意図)	文化芸術に親しむ機会の充実を図る。		
概要	事業の実施手法、手順	・公募形式の美術展として「高山市美術展覧会」「臥龍桜日本画大賞展」「飛騨高山現代木版画ビエンナーレ」を実施している。		
概要	事業始期・終期	始期	年度から	終期
概要	今年度の改善・改革ポイント	前年度の評価結果、指示事項等を踏まえ記入		

3 事業費の推移・結果(Do)

区分		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
財源	総合計画計画額(当初)	16,770	14,610	15,986	12,000	16,000	
	総合計画計画額(計画額)	16,000	12,000	15,986	12,000	16,000	
	事業費	16,770	14,610	15,986			
	(計画・予算・見込・決算額)	決算・見込	14,814	12,963			
	内訳	国庫支出金	予算額				
			決算・見込				
		県支出金	予算額				
			決算・見込				
		地方債	予算額				
			決算・見込				
		受益者負担	予算額				
			決算・見込				
		繰入	予算額				
			決算・見込				
	(雑入)	予算額	2,560	1,900	2,460		
決算・見込		2,434	2,936				
一般財源	予算額	14,210	12,710	13,526			
	決算・見込	12,380	10,027				
H17国勢調査 96,231 人 32,174 世帯 ※コスト→行政活動の単位当たり経費算出、変動を経年比較により、効率性評価							
コスト	受益者負担率(受益者負担/事業費)	単位	%				
コスト	市民1人当たりコスト(事業費/H17人口)	単位	円/人	154	135		
コスト	1世帯当たりコスト(事業費/H17世帯)	単位	円/世帯	460	403		
指標	受益者1人当たりコスト(事業費/指標)	単位	円/人				
指標	その他(空欄にコスト指標名記入、事業費をベースとして単位当たりコストを算出)	単位	円/人				

【成果面】

活動・成果指標	活動指標	投入した行政資源を使い、どんな活動を行ったか、どのようなサービスを市民に提供したかを表す指標	指標名	資料・出展算出式	単位	
	活動指標	目標値	実績値	達成率	活動の方向	
	活動指標	目標値	実績値	達成率	活動の方向	
	活動指標	目標値	実績値	達成率	活動の方向	
成果指標	成果指標	活動やサービスを行った結果、市民にどのような影響(効果)をどれだけ与えたかを表す指標	指標名	資料・出展算出式	単位	点
	成果指標	目標値	実績値	達成率	成果の方向	
	成果指標	目標値	実績値	達成率	成果の方向	
	成果指標	目標値	実績値	達成率	成果の方向	

4 分析・評価(Check)

①事業の目的評価(事業の目的・概要に対する妥当性から事業の必要性を評価)	(現状及び判定理由)	各公募美術展とも、それぞれに伝統と特色を持つ公募美術展として芸術文化に対する意識の高揚、芸術文化水準の向上に寄与している。	目的評価	A:非常に高い B:高い C:低い D:非常に低い	B					
	②コスト面評価(事業費の推移、コスト指標の結果からコスト面を評価)	該当項目「1」入力(注:平成20年度から平成22年度第一四半期までの推移から判断)	項目	②コスト面						
③成果面評価(活動指標・成果指標から成果面を評価)	(判定理由)	公募美術展の開催周期等により全体事業費に変動はみられるものの、各公募美術展の事業費はほぼ横ばいで推移している。臥龍桜日本画大賞展は他の公募美術展に比べ、事業の性格上、多額の事業費がかかっている。	減少	維持	1	増加	③成果面	増加	維持	減少
	(判定理由)	公募美術展の開催周期等により全体応募点数に変動はみられるものの、各公募美術展の応募点数はほぼ横ばいで推移している。	拡大	維持	1	減少	コスト・成果ポジション	E		
第3水準										

目的評価「A・B」かつコスト・成果「第1水準」	→	I 「良い」	良好な水準を維持
目的評価「A・B」かつコスト・成果「第2水準」	→	II 「やや良い」	「I」の水準に向けた改善が必要
目的評価「A・B」かつコスト・成果「第3水準」	→	III 「普通」	「II」の水準に向けた改善が必要
目的評価「A・B」かつコスト・成果「第4水準」	→	IV 「やや良くない」	「III」の水準に向けた改善が必要
目的評価「C・D」もしくはコスト・成果「第5水準」	→	V 「良くない」	「IV」の水準に向けた改善もしくは事業の休止、廃止などの検討が必要

分析・評価(Check)により明らかになった課題・問題点	各公募美術展が真に市民の公募美術展となるよう、実施方法等について検討する必要がある。3つの公募美術展の関連や位置づけを整理する必要がある。
------------------------------	---

5 今後の方向性(Action)

評価結果に対する改善提案(下記チェック)	現状維持 ■ 改善・継続 ■ 終期設定 ■ 休止 ■ 廃止 ■ 完了
活動の方針	・市民を巻き込んだ実施方法等について検討する。 ・3つの公募美術展の関連や位置づけについて検討する。
次年度の実施方針	同上

一次評価 主管課	III
判断の理由	芸術文化活動の市民生活への浸透と文化振興のため、新たな芸術文化の創出を促す文化的環境の更なる充実が必要になっている。

総合評価	中 中 III
判断の理由等	「II」以上の水準に向けた改善が必要 市の3つの公募美術展の関連や位置づけ、市民を巻き込んだ実施方法等について検討する必要がある。